

ハローワーク西尾 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

・就職件数の目標達成に向けて、紹介件数を向上させて就職に結びつけるため、窓口担当者に個別目標値を設定し、進捗状況の意識付けの推進を図りました。また、部門責任者が定期的に面談を行い、より効果的な職業相談を目指し助言等を行うなど職業相談の質を高める取組を行いました。求職者マイページなど求職活動に資するツールも積極的に案内し、開設率が大幅に向上しました。

・雇用保険受給者の早期再就職促進に向けては、全ての受給者に雇用保険受給資格者証交付時に「あなたの再就職プラン」（再就職手当シミュレーション）を配布することにより、早期再就職への意欲喚起を図り、受給資格決定時、初回認定時には受給者全員に求人情報の提供を実施しました。加えて、資格決定時だけでなく失業認定時にも毎回アンケートを行い、就職支援対象者を適切にナビゲーターによる担当者制の個別支援等へ誘導し早期再就職を目指して積極的に支援を行いました。

・就職氷河期世代の就労支援については、応募書類・面接対策を中心とした就職活動のノウハウが身につく就職支援セミナーを毎月開催し、就職支援コーディネーターによる個別支援により、対象者個人の課題に寄り添った支援を実施しています。

また、西尾市との「就職氷河期世代の就労支援に関する連携協定」に基づき、市生涯学習課、相談施設「西尾市子ども・若者総合相談センター（コンパス）」と連携し、出張相談や伴走型支援を実施しています。今後、企業への同行訪問、職場体験の実施を予定しています。

・障害者の就職支援では、就労準備が整っていると判断できる場合、マッチングができそうな企業に対して職場見学の打診を行い、雇用指導担当と専門援助担当とが連携し、同行訪問して障害者の受け入れや職務の切り出しの提案を行うなどの支援を行っています。また西尾市と障害者就職面接会を共催するなど管内自治体との連携も進めています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

・中長期的な職員の育成を図る観点から、以下の職員等研修を実施し、資質向上を図りました。

○2級キャリアコン技能士資格を所持するナビゲーターによるキャリアコンサルティングに関する研修

○NPO法人に依頼しLGBTQ+に関する研修

○西尾市子ども・若者総合支援センター「コンパス」に依頼し就職氷河期・ひきこもり支援に関する研修

○労働基準監督署職員による労働関係法令に関する研修

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

①求職申込書の記入を不要とする取組

・求職者の求職条件等を的確に把握することは、必要な就職支援や的確な求人情報の提供等を実施するために必要不可欠です。そこで求職者の待合時間を短縮すること、求職者の求める求職条件を正確に把握することを目的とし、令和4年10月より原則、求職申込書の記入を不要とし、窓口で担当者が丁寧に聞き取りしながら登録する取組を開始しました。これにより、より詳しい求職条件等を把握し、求職者のニーズに沿った安定所の支援策を案内する取組を徹底して行っています。

②認定日予備相談用紙の導入

・令和4年度より雇用保険受給者には認定日ごとに「認定日予備相談用紙」を記入していただき、その時点での求職者のニーズを把握することで早期就職につなげる取組を実施しています。資格決定時だけでなく失業認定時にも毎回アンケートを行うことで、現在の支援対象者のニーズを把握し、的確な支援へ誘導することとしています。

③求人提出勧奨リーフレットの作成

・新型コロナウイルス感染症の影響により、新規求人数が減少傾向にあったため、令和4年度より求人提出の意向を簡便にハローワークに伝達していただくとともに、事業所訪問して相談しながら求人受付できる旨をPRしたリーフレットを作成し、求人窓口や雇用保険適用窓口で配付しています。コロナ禍のため、令和3年度までは事業所訪問実施が難しかった面があり、リーフレットにより事業所訪問を増やす効果も期待しています。また、ハローワークまで来所せずとも求人が出せる求人者マイページの開設案内及び開設支援を積極的に行い、開設率が大幅に向上しました。

④効果的な情報発信の工夫（Twitter・YouTubeの活用、ホームページのトップページボタンの改善、庁舎内の掲示板の手書きPOPなど）

・イベントやセミナーの情報が、必要とする人に確実に届き、早期の就職を実現できるよう、各種イベント等の周知広報の仕方を工夫し、誰にもわかりやすく、情報が簡単に得られるようにするため、令和4年度よりTwitter・YouTubeでの積極的な周知広報を開始するとともに、ホームページのトップページボタンの改善や、庁舎内の掲示板等を手書きPOPなどで情報が一目でわかるよう改善しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・求人者マイページの普及に伴い、事業所の来所頻度が低下することが考えられることから、積極的な事業所訪問や事業所見学を行い、事業所のニーズを的確に把握し、セールスポイントなど求職者にわかりやすく伝えるために求人票の書き方の助言をしたり、管理選考、面接会等を企画するなど、安定所側から積極的に働きかけを行います。また、事業所の現場の作業風景など求人票では伝わりにくい情報など動画撮影して所の公式YouTubeに掲載する等、求人者サービスの充実を図っていきます。

・求職者マイページについて、新規にメール通知機能が付加されたことも活かし、求人票の送付に加え就職活動に有用な情報等を送付する、給付制限中の求職者への積極的なアプローチに活用する等、求職者マイページの一層の活用を図ります。

- ・また、引き続きハローワーク評価に係る主要指標の向上のための方策として、
- ① 求人者マイページ・求職者マイページの利用促進等を着実に推進します。
 - ② 「良質な求人」を求職者に届けるため、企業支援部門と職業相談部門による求人充足会議の充実を図ります。
 - ③ 開拓により確保した求人の充足に向けた効果的広報・プラスワン紹介等を積極的に実施します。
 - ④ オンライン自主応募可能求人を増やし、オンライン登録者のマッチングを高め、求人充足への取組を行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

・当所は小規模所であり、機動的な業務運営が可能のため、企業支援担当部門を中心として、職業相談担当部門と連携した求人者支援の充実強化を継続的に図っていくことが重要であると考えております。ハローワークを利用する企業の割合が高い土地柄であるからこそ、求人充足に繋がる実効性のある支援を展開することで、求人者の信頼を少しでも多く得ていくことが求められていると考えています。

・管内は自動車部品製造を中心とした輸送用機械器具製造業の事業所が多いことから、自動車メーカーの景況や生産状況に左右される部分が大きい面があります。今後は、脱炭素化、EV化、CASE等への対応により、事業所ごとの状況に違いが現れる可能性もあり、経済界や企業の動向を注意深く見ていく必要があると考えています。世の中がめまぐるしく変化する中、労働市場を的確にとらえ、求職者・求人者双方の目線を大切にし、必要な支援を着実に進めていきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	④HWの紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	②障害者の 就職件数	⑨生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	
令和4年度実績	1,582	1,222	678	80.4%	97.0%	222	101	57	
令和4年度目標	1,706	1,370	706	90.0%	90.0%	164	97	55	
目標達成率	92.7%	89.2%	96.0%	89.3%	107.8%	135.4%	104.1%	103.6%	

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率